

研究課題名	手指慢性骨髄炎における血管柄付き組織移植術の治療成績に関する後ろ向き研究
研究の意義・目的	<p>手指慢性骨髄炎は血流に乏しく抗生剤治療のみでは完治が難しく、手術加療を要することが多いです。また、骨や組織が侵され機能的な障害が残ることもあります。我々は手指慢性骨髄炎に対して、手術で感染病巣を掻き出した後の死腔(空間)に血管と血流のある組織(血管柄付き脂肪弁)を移植する方法を行ってきました。</p> <p>しかし、慢性骨髄炎に対する治療の中期から長期成績についての報告は少なく、そのため、本研究では術後成績に関連する因子の特定や手術の有効性などを検討するための後ろ向き研究を行うこととしました。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2025 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2009 年 1 月~2023 年 5 月に大阪市立大学医学部附属病院および大阪公立大学医学部附属病院の整形外科で、手指慢性骨髄炎の診断で血管柄付き組織移植術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：患者基本情報(年齢、性別、診断名、病歴)、身体所見(身長、体重)、血液検査(白血球数、CRP)、画像検査(X線、CT、MRI)、理学所見(関節可動域、握力・筋力)、アンケート(患者立脚型評価である QDASH,HAND20)、手術記録</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科整形外科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】岡田充弘</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 整形外科 担当者氏名：岡田充弘 電話番号：(06)-6645-2121 メールアドレス：gr-med-seikei@omu.ac.jp